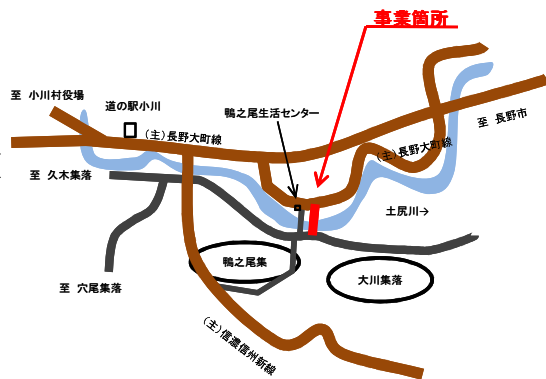


(様式2)新規評価シート

建設部 道路管理課

事業名		県代行事業		路河川名等	村道20号線			
事業毎の通番		2	市町村名	小川村	箇所名(ふりがな)	鴨之尾橋(かものおはし)		
事業概要	事業目的	老朽橋の架け替え、生活道路の整備による利便性及び安全性の向上						
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け			事業実施の根拠法令等	過疎地域自立促進特別措置法			
	関連する事業、計画等	なし						
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	鴨之尾、大川集落及び土尻川上流背後地の農地等						
	着手年度	平成27年度	事業期間	3年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)		
	完成年度(見込み)	平成29年度	費用対効果		国庫	71,500	その他	9,000
	全体事業内容(主な工種)	橋梁工L=50m W=7.0m 1橋(L=39m,W=5.5(7.0)m)、取付道路工 1式			130,000	71,500		58,500
年度事業内容(主な工種)	地質調査 1式、橋梁予備、詳細設計 1式			20,000	11,000		9,000	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	橋梁及び道路整備により、鴨之尾、大川集落から長野市及び小川村中心部方面へのアクセスと安全性の向上が図られる。						
	間接的効果(定量的・定性的)	旧橋撤去により、架橋部の河積が拡大し、沿川住宅、農地等が浸水被害から保全される。						
評価の視点	必要性	鴨之尾及び大川集落と主要地方道長野大町線とを結び、小川村中心部及び長野市街へアクセスする道路。現橋は幅員が狭いうえに老朽化が進んでいるため、通行車両の安全性を確保する必要がある。					評価	B
	重要性	鴨之尾及び大川集落から避難所夏和生活改善センターへ避難する際に通行する道路。通行不可となると集落が孤立するため、防災上も重要な路線。当地域は過疎地域に指定されている。					評価	B
	効率性	事業期間は3年を予定しており、早期に効果発現できる。橋梁形式等について、供用後の維持管理も含め比較検討し、効率性の高い計画を立案。老朽橋の架け替え及び前後道路の整備と同時に、河川狭窄部に架かる旧橋を撤去することにより、上流背後地への浸水被害を防ぐことができる。					評価	A
	緊急性	現橋は幅員が3.0mと狭く、通行に支障があるうえに、架設後約50年が経過し安全及び防災面で問題があるため、早急に整備する必要がある。					評価	A
	計画熟度	地域の要望が強く、要望書も提出されている。関係機関との協議、地元への説明は村が主体となって進めてきており、計画の了解も概ね得られている。					評価	A
	部意見	集落と村の中心部を連絡する唯一の連絡道路であるとともに、避難路に位置づけられている地域の主要道路であるため、整備が必要である。	行政改革課意見	橋梁は幅員が狭く、老朽化が進んでいることから、緊急性が認められる。	評価結果	○	総合評価	B

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)



事業概要説明図表

【整備の必要性がわかる状況写真等】



事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	通行車両の安全確保のため、早急な対策が求められているが、橋梁の設計施工及び監督は技術職員のいない村が実施することは厳しく、県の技術支援が必要である。	
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	地域からは強い要望があり、要望書も提出されている。また、事業の受け入れ体制等の地元調整は村が主体となって進めている。	
③事業説明等の経緯	村から地元計画概要等の事業説明会を開催し、理解が得られている。	
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	特になし	
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	生活環境へ影響が無いよう、極力家屋等には掛けない位置に新橋梁を計画する。	
⑥地域活性化への影響と配慮	橋梁を含む前後道路の改良により利便性が向上し、地域の活性化が図られる。	
⑦その他		
事業代表地点の緯度経度		北緯:N 36° 36' 23"
		東経:E 137° 59' 45"